

ASEAN 大使通信

第 19 回 特別首脳会議から半年間の進展

2024 年（令和 6 年）6 月 28 日



日 ASEAN フォーラム（2024 年 6 月 25 日、タイ外務省提供）

昨年 12 月の日 ASEAN50 周年特別首脳会議開催から早くも半年が過ぎました。本年の ASEAN 行事のサイクルも、いよいよ折り返し地点です。7 月の ASEAN 関連外相会議、10 月の首脳会議の開催に向けて、準備が本格化しています。

今月、ASEAN 議長国ラオスのビエンチャンでは、ASEAN+日中韓（APT）、東アジア首脳会議（EAS）、ASEAN 地域フォーラム（ARF）の高級事務レベル会合（SOM）が、本年初めて開催されました。また、ASEAN は 11 の対話国・機関と ASEAN+1 の枠組みで大使級会合と SOM 会合を毎年開催しており、日本については日 ASEAN 合同協力委員会（AJJCC）と日 ASEAN フォーラムが、今月ジャカルタとバンコクでそれぞれ開催されました。更に、日米韓 ASEAN 代表部大使の東ティモール共同訪問も実現し、大きな成果がありました。

今回の大使通信では、一連の会議や行事についてご報告しながら、特別首脳会議から半年間の進展について、皆さんと一緒に振り返ってみたいと思います。



EAS・SOM（2024年6月7日、ASEAN事務局提供）

●ASEAN 関連 SOM

6月3日の週は、ラオスの首都ビエンチャンのクラウンプラザ・ホテルに、ASEAN 各国に加えて多くのパートナー国から代表団が集まり、ASEAN 主導の枠組みの下で各種の高級事務レベル会合（SOM）が開催されました。

ASEAN のみの SOM は既に何度か開かれていますが、ASEAN+日中韓（APT）、東アジア首脳会議（EAS）、ASEAN 地域フォーラム（ARF）の SOM は本年初めての開催です。日本の代表団は外務本省の林誠アジア大洋州局・南部アジア部参事官／ASEAN 協力担当大使が代表で、私も APT と EAS の SOM に参加しました。

6月7日に開催された [APT・SOM](#) では、5月下旬の日中韓サミット開催を経て、日中韓側調整国が韓国から日本に交代したことを受けて、ラオスと日本の共同議長の下で協力の進展のレビューを中心に話し合いました。また、同日の [EAS・SOM](#) では、この夏から秋にかけての EAS 外相会議と首脳会議に向けて、成果文書の方針や地域・国際情勢について率直な意見交換を行いました。同日夜のガラ・ディナーには ARF 参加国からも多くの関係者が加わり、ラオスの文化パフォーマンスを楽しみながら交流を深めることができました。



日 ASEAN 合同協力委員会（2024 年 6 月 10 日、ASEAN 事務局提供）

●日 ASEAN 合同協力委員会

週明けの 6 月 10 日には、ジャカルタの ASEAN 本部／事務局で[日 ASEAN 合同協力委員会 \(AJJCC\)](#)が開催されました。ASEAN10 か国のジャカルタ常駐代表、ASEAN 事務局とオブザーバーからなる委員会（Committee of Permanent Representative, CPR）は、11 の対話国・機関（Dialogue Partners）の各代表と、毎年前半に大使級の合同協力委員会（JCC）をそれぞれ開催し、協力関係の進展をレビューしています。

ASEAN は対話国・機関毎に、3 年任期で持ち回りの調整国を指名しており、対日調整国は本年 7 月の ASEAN 関連外相会議までタイが担当しています。このため、パンティパ ASEAN 常駐代表と私が共同議長を務めました。

今回の AJJCC は、昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年及び特別首脳会議の後、新たな共同ビジョン・ステートメントと実施計画のフォローアップを行う重要な機会となりました。日 ASEAN 双方の関係省庁の全面的な協力を得て進捗状況を洗い出し、昨年 12 月の採択から約半年で、実施計画にある 130 項目のうち 81 項目（約 62%）が既に着手済（addressed）と確認できました。

私からは、43 の協力分野での主要な進展について、[プレゼン資料](#)で ASEAN 側に説明を行い、日本の前向きな取組について理解を深めてもらえたことと思います。また、地域・国際情勢について議論ができたことも大変有意義でした。



CPR+3（2024年6月13日、ASEAN事務局提供）

●ASEAN 常駐代表委員会＋日中韓（CPR+3）

同じ週の6月13日には、ASEAN本部／事務局で、[ASEAN 常駐代表委員会＋日中韓（CPR+3）](#)が開催されました。[ASEAN＋日中韓（APT）の枠組み](#)では、CPR との会合は年2回、APT 外相会議と首脳会議の前にそれぞれ開催し、協力の進捗状況を確認しています。

前週のAPT・SOMと同じく、5月下旬の日中韓サミット開催を経て、日中韓側調整国が韓国から日本に交代し、ASEAN議長国ラオスと日本が共同議長となりました。今回の会合では、日中韓から協力の進展についてそれぞれ報告を行い、ASEAN 各国や事務局からは幅広い分野での具体的な協力の提案がありました。

APTの枠組みは、1997年の立ち上げから四半世紀以上を経て、多くのセクター（省庁プロセス）や協力基金（APTCF）などの制度が整い、金融・農業分野をはじめ多くの成果を上げています。これからも、日ASEAN、APT、EAS、ARFなどそれぞれの枠組みの強みを生かしながら、ASEANとの間で重層的な協力関係を一層深めていきたいと思っています。



日米韓 ASEAN 代表部大使のラモス＝ホルタ大統領表敬
(2024 年 6 月 20 日、米国 A S E A N 代表部提供)

●日米韓 ASEAN 代表部大使の東ティモール共同訪問

その翌週後半の 6 月 19 日～21 日には、[日米韓 ASEAN 代表部大使で東ティモールを共同訪問](#)しました。これは、昨年 8 月に米国キャンプ・デービッドで開催された[日米韓首脳会合](#)を受けて、採択された成果文書に基づく具体的な取組の一環として、東ティモールの ASEAN 正式加盟に向けた取組を連携して後押しするために行ったものです。

今回の訪問中、私はエイブラハム米国 ASEAN 代表部大使、イ韓国 ASEAN 代表部大使とともに、ラモス＝ホルタ大統領、グスマン首相を表敬、ランジェル外務・協力省 ASEAN 関係副大臣と会談しました。更に、東ティモール国立大学での 3 大使による講演会、ASEAN 正式加盟準備に携わる東ティモール関係省庁との会議、バログン国連常駐調整官との意見交換等も行いました。また、年来の友人で平和構築支援に造詣の深い[坂根宏治 JICA 専門家からの説明](#)も勉強になりました。

訪問を通じて、東ティモールにとっての ASEAN 正式加盟の重要性への理解を深め、日米韓で連携しながら相乗効果のある協力を行う決意を新たにしました。日本は東ティモール独立前の 1999 年に東京で東ティモール支援国会合を主催してから四半世紀にわたり、国連 PKO への自衛隊・警察派遣など幅広い支援を行ってきたことの成果を実感するとともに、謝意の表明を嬉しく思いました。



日 ASEAN フォーラム（2024 年 6 月 25 日）

●日 ASEAN フォーラム

その週明けにはバンコクに移動し、6 月 24 日～26 日開催の[日 ASEAN フォーラム](#)に参加しました。冒頭お伝えしたように、ASEAN は 11 の対話国・機関と、ASEAN+1 の枠組みで高級事務レベル会合（SOM）を毎年開催しています。日 ASEAN フォーラムは 1977 年に発足し、今回が第 39 回になります。日本の SOM リーダーの船越外務審議官（政務）が外務本省から出席し、ホストのタイ外務省のエクシリ外務次官（タイ SOM リーダー）と共同議長を務めました。

初日の 24 日はエクシリ外務次官主催の夕食会に招待され、北海道のホタテや味噌、枝豆など日本の食材も使ったタイ料理で歓迎を受けました。そして翌 25 日の本会合では、日 ASEAN 協力のレビューと今後の方向性、そして地域・国際情勢について、ASEAN10 か国と日本の間で率直かつ踏み込んだ意見交換が行った後、オブザーバーの東ティモールの発言と共同議長の挨拶で締めくくりました。

最終日は、タイ外務省 ASEAN 局の企画で、元 JR 北海道「キハ 183」で[アユタヤの日本人村他を訪問](#)して、フォーラム参加者や在タイ ASEAN 加盟国・日本大使館員間で交流を深め、タイ政府の日本に対する細やかな心遣いを感じました。



ASEAN-G7 法務・司法ネクスト・リーダーズ・フォーラム
(2024 年 6 月 26 日、ASEAN 事務局提供)

●特別首脳会議から半年間の進展

私が出張中の 6 月 19 日にはジャカルタで、東アジア ASEAN 経済研究センター（ERIA）と ASEAN 平和和解研究所（ASEAN-IPR）が「[女性・平和・安全保障（WPS）及びデジタル経済における女性（WDE）に関するキックオフ・ラウンドテーブル](#)」を共催し、上川外務大臣が[ビデオメッセージ](#)を寄せました。また、6 月下旬にはナラリヤ ASEAN 事務次長（官房担当）が訪日し、奈良で大阪関西万博（IPM）に参加した他、東京で[ASEAN-G7 法務・司法ネクスト・リーダーズ・フォーラム](#)の[開会挨拶](#)を行いました。

以上ご報告したように、昨年 12 月の日 ASEAN50 周年特別首脳会議から半年間で、具体的な協力が幅広い分野で進展しているのみならず、日 ASEAN 合同協力委員会や日 ASEAN フォーラムといった機会を活用して、フォローアップの取組や次の展開に向けての議論も進んでいます。この半年間のモメンタムを生かして更に加速できるよう、是非皆さんと協力していきたいと思います。引き続きよろしくお願いします。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦